

血液・腫瘍内科(血液) レジデント研修カリキュラム

白血病の診断・治療の専門医を目指す研修

研修目的

白血病の診断・治療に関する専門的知識・技術を習得する。特に、急性白血病に対する化学療法および同種造血幹細胞移植の実践を学ぶ。白血病患者を通して、がん患者の抱える身体的、精神的、社会的問題を十分に把握し、患者・家族への指導が行える能力を養う。

研修目標

血液専門医の取得に必要な血液学の基礎および白血病に関する専門的知識・技術の習得を目標とする。また、がん医療に関わる医師としての基本的姿勢を身につける。

年度別到達目標

1年目到達目標

白血病の一般的臨床像を学ぶとともに、形態学的診断から分子生物学的診断まで幅広い視点に立った総合的な診断能力を身につける。白血病に対する化学療法と造血幹細胞移植の概念を理解し、基本的治療方法を習得する。白血病治療に必須の支持療法(輸血療法、感染症治療、栄養管理等)の知識と技術を学ぶ。

2年目到達目標

引き続き専門医としての資質を養うために、より高度な造血幹細胞移植（非寛解期移植、HLA 不一致移植等）を担当する。また、外来診療に参加し、初診患者への対応や入院治療を行った患者のフォローアップの実践を学ぶ。

指導体制

内科専門医・指導医、血液学会専門医・指導医が指導にあたる。骨髓標本の見方や分子生物学的検査の理解等は検査科とともに行う。

研修内容

- 数人の白血病入院患者を担当する。
- 腫瘍内科との無菌病棟合同カンファランスで症例検討（1回/週）、血液腫瘍に関する英語論文抄読会（腫瘍内科と合同、1回/週）に参加。
- 血液学に関する研究会、学会での発表や論文作成も行う。

週間スケジュール

月	病棟診療、血液・腫瘍内科合同英語論文抄読会
火	病棟診療、無菌病棟合同カンファランス
水	病棟診療、骨髓採取（不定期）、外来診療（2年目、可能なら）
木	病棟診療
金	病棟診療

研修評価方法

部長による研修評価のほか、他のスタッフからも逐次評価を受ける。

一年次終了時に指導医による年次評価を行い、二年次の目標を立てる。

最終改訂：令和4年3月16日